

## 第3次伊勢市総合計画・後期基本計画（案）の パブリックコメント実施結果について

### 1 パブリックコメント実施の概要

(1) 意見募集した案件

第3次伊勢市総合計画・後期基本計画（案）

(2) 意見募集方法

市公報、市ホームページ、市広報紙、市行政チャンネル文字放送、市公式 LINE で周知し、計画（案）をホームページに掲載するとともに、次の場所に備え置き閲覧に供した。

(3) 計画（案）の閲覧場所（19箇所）

- ・市役所（本館1階市民ホール、企画調整課、総務課）
- ・総合支所生活福祉課（二見、小俣、御園）
- ・支所（神社、大湊、浜郷、宮本、豊浜、北浜、城田、四郷、沼木）
- ・市立図書館（伊勢、小俣）
- ・生涯学習センター（いせトピア、二見）

(4) 意見提出の対象者

市内に在住、通勤又は通学されている人など

(5) 意見募集の期間

令和8年2月26日（木）～令和8年3月26日（木）

### 2 意見募集の結果

- ・意見数 35 件（意見人数 15 人）

内訳：オンライン 24 件（10 人）、直接持参 10 件（4 人）、FAX 1 件（1 人）

第3次伊勢市総合計画 後期基本計画（案） パブリックコメント意見に対する考え方について

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
1	I 基本的事項	3	本計画に統合・包含する計画について 「人口減少の克服」という表現は人口が減少することがあたかも悪いことで人口減少を食い止めるという意味で克服ということばを使っている印象をあたえます。今日の人口減少は地球環境における自然の摂理であり継続的な生命の繁栄のために望ましいことであると受け止め、それを前提に私たちの社会をどう作って行くか考えることがすべての人類に課せられた課題であると認識しなければなりません。	「人口減少の克服」という表現につきましては、本計画を国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置づけていることから、国の掲げる政策目的の趣旨に沿って記載したものです。 本市といたしましては、人口減少そのものを抑制することのみを目的とするのではなく、人口減少に伴って生じる様々な地域課題を乗り越え、持続可能な地域社会を形成していくという意味合いを込めております。 いただいたご意見は、今後の施策展開における課題認識として受け止めさせていただきます。	無
2	II 取組方針	5	取組方針について 「伊勢が持つ魅力」について、伊勢市という「伊勢」を名乗る行政体が考える伊勢は当然に「伊勢市」を指すと思って記述して居られることと思います。しかしながら、伊勢は桑名から柏崎まで広い地域の名称として親しまれ、多くの県民が「伊勢」に愛着を持っていることに深甚な敬意を表し、伊勢市地域に局限した意味においてたんに「伊勢」と表現することには極めて慎重でなければなりません。（以後、複数個所の「伊勢市」への書き換えを求めます。）	ご指摘のとおり、「伊勢」という名称は古くから広域的な地域を指す言葉として、市内外の多くの方々が深い愛着を持っておられます。本市といたしましても、その歴史的な重みや広がりについては十分に認識しております。 その上で、本計画におきましては、市民の皆様に親しみを持って計画を読んでいただくための表現として、伊勢市を指す言葉として「伊勢」と表記している箇所がございます。 いただいたご意見は、今後のまちづくりを進める上で重要な認識として受け止めさせていただきます。	無
3	IV 創生戦略 創生戦略1 未来を支える人づくり 施策2 教育環境の充実  V 分野別計画 分野7 都市基盤 施策3 交通	12        132	市内の過疎地域に住む高校生が自ら学校に通えるよう、検討してほしい。例として、バスの運行が少なく、駅が遠い沼木地区。市内の高校や他市町村の高校に自ら通うのは困難な環境である。自らがいきたいと思える学校にいけるための交通手段の支援や助成金をお願いしたい。	バスの運行本数が限られる中でも、通学で利用しやすいダイヤ設定や使いやすい定期券制度・内容など、通いたい学校に通えるような地域交通の確保・構築の検討を進めてまいります。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
4	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 前文 施策1 文化力の向上	21	まちの躍動・輝きづくりについて「本市固有の文化」というくくりが抽象的で概念があいまいです。現在の伊勢市は宇治・山田だけではなく、合併を繰返し広い地域を含みます。地域ごとに歴史がありそれぞれに固有の文化がありそれぞれに誇りがあることを、現在の行政区域の都合から一方的に単純化するようなことがあってはなりません。反対に、伊勢市成立以前の宇治山田市の時代あるいはもっと古くから伊勢の名で呼ばれていた文化を本市固有だと矮小化することも避けるべきです。	ご指摘のとおり、現在の伊勢市は合併を経て形成されており、宇治・山田地域だけでなく、それぞれの地域に、先人たちが守り育ててきた固有の歴史や文化、そして誇りがあります。また、「伊勢」という名称が持つ広域的な広がりについても、本市として十分に認識しております。計画案に記載しております「本市固有の文化」という表現につきましては、宇治・山田等の特定地域の文化のみを指すものではなく、現在の伊勢市を構成する各地域が持つ多様な歴史・文化・伝統を総称したものとして記載しております。いただいたご意見は、今後の文化行政やまちづくりを進める上で、各地域の多様性を尊重する重要な視点として、受け止めさせていただきます。	無
5	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 施策1 文化力の向上  V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	21  54	・アーティスト・イン・レジデンス制度の創設：市内の空き家・空き店舗をガラス作家や工芸作家の制作拠点として優遇賃貸する「伊勢アートレジデンス」制度を設ける。家賃補助や設備投資補助（ガラス窯・工房整備費等）を市が一部負担する。 ・地元作家認定制度（伊勢クラフトマーク）：一定期間市内で制作活動を行う作家に「伊勢クラフト認定作家」の称号を付与し、市の観光施設・おかげ横丁周辺エリアでの販売・展示において出店料の減免・優先枠の設定を行う。 ・公共施設への作品設置義務化：市が整備・改修する公共施設において、内外装の一部に認定作家の作品（ガラスパネル・照明・タイルアート等）を採用することを方針として明記する。	市内で活動する作家の制作拠点の確保や販路支援を通じて、地元アーティストの定住・定着を図るというご提案の趣旨は、文化芸術の担い手を育てるという観点から、その方向性は理解できるものです。いただいたご意見は、今後の事業を検討していく上での参考とさせていただきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
6	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 施策1 文化力の向上  V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	21  54	音楽・芸術が日常にあふれるまちの環境整備 ・「地域の誇りをつなぐまち」という基本理念のもと、音楽や芸術を市民の日常に組み込む施策を提案します。 ・ストリートミュージック公認制度の導入：おはらい町・河崎地区・伊勢市駅前エリア等に**公認演奏スポット（バスキングゾーン）**を設け、地元アーティスト・学生バンド等が定期的に演奏できる仕組みをつくる。地元登録アーティストを優先的に割り当てる。 ・「伊勢音楽月間」の制定：神宮ゆかりの雅楽・神楽などの伝統音楽と、現代音楽・ジャズ・ポップスが融合するフェスティバルを毎年開催し、地元出演者比率を過半数以上とするルールを設ける。 ・アートストリート化事業：市内の老朽シャッター商店街・通学路等の壁面を、地元アーティストへの制作委託によるウォールアートで彩る。制作費は市が助成し、地域住民と作家が協働するワークショップ形式を採用する。	音楽・芸術が日常にあふれるまちづくりを通じて、市民が身近に文化芸術に触れる機会を広げるといふご提案の趣旨は、本市が目指す文化芸術振興の方向性と合致するものとして受け止めています。 いただいたご意見は、今後の事業を検討していく上での参考とさせていただきます。	無
7	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 施策1 文化力の向上  V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	21  54	次世代アーティスト育成と教育の連携（関連分野：第2章 教育） ・学校での地元作家派遣プログラム：市内小中学校に認定作家（作家・陶芸家・音楽家等）を年間複数回派遣し、体験授業を実施。子どもたちが地域の文化的誇りを体感できる機会をつくる。 ・若手アーティスト奨励金制度：市内在住・在学のアーティストを対象に、制作活動・発表活動への奨励金制度を設け、伊勢を拠点に活動する若手の定住・定着を図る。	市では、次世代のための文化芸術推進事業として、小中学生を対象とする文化体験講座を実施しています。ご提案いただいた内容も参考に今後の講座内容について検討していきたいと考えます。 市内在住・在学の若手アーティストの制作・発表活動を支援し、伊勢を拠点とした定住・定着を促進するというご提案の趣旨は、人口減少・若者流出が課題となる本市において、文化芸術の担い手を育成・確保するという観点から、重要な視点であると受け止めています。いただいたご意見は今後の事業検討における参考とさせていただきます。	無
8	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 施策1 文化力の向上  V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	21  54	観光・産業との連携による持続可能な文化経済圏の形成（関連分野：第6章 産業・経済、第7章 都市基盤） ・「芸術街道」構想：作家・工芸作家のアトリエを結び観光ルートを設定し、市の観光案内・デジタルマップに掲載。「見て・体験して・買える」工房ツーリズムとして国内外に発信する。 ・マルシェ・アートイベントへの公有地提供：市有地・公園を活用したアートマルシェを定期開催し、地元アーティストへの出展枠を一般事業者より低コストで提供する優遇枠を明示的に設ける。	文化芸術を観光施策や公園施設運営との連携を通じてまちづくりにつなげるという視点は、分野横断による「まちの躍動・輝きづくり」の施策展開の考え方と合致するものと認識しています。 総合計画においては、具体的な事業手法の記載は行いませんが、分野横断による文化芸術の振興を図る視点は、今後の個別施策や事業検討において重要な視点として参考とさせていただきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
9	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 施策1 文化力の向上  V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	21  54	第3次伊勢市総合計画の基本構想は「つながりが誇りと安らぎを育む魅力創造都市 伊勢」を将来像とし、「地域の誇りをつなぐまち」を基本理念の一つに掲げています。作家・地元アーティストの定住・活躍を支える制度と、音楽・芸術が日常にあふれる環境整備は、この将来像を体現する最も具体的な手立ての一つです。後期基本計画（令和8～11年度）において、上記施策を産業・経済・教育・都市基盤の各分野に横断的に位置づけることを強く希望します。	文化芸術を産業・経済、教育、都市基盤などと関連づける視点は、本計画の創生戦略における施策展開の考え方と合致するものと認識しています。 分野別計画においても、教育分野での伝統や文化への関心の醸成、産業・経済分野における観光地の魅力向上、都市基盤分野における景観形成の促進など、各分野に文化に関する取り組みを位置づけています。 総合計画では具体的な事業手法は示していませんが、こうした視点については、今後の個別施策や事業検討において活かしてまいります。	無
10	IV 創生戦略 創生戦略2 まちの躍動・輝きづくり 施策2 観光による賑わいづくり  V 分野別計画 分野6 産業・経済 施策3 観光	22  117	伊勢市駅周辺についてです。 情報発信等で年々観光客は増加傾向で、伊勢は観光で経済利益が大きいと思っており、集客に対して発信をしているのは大変良いことですが、肝心な受入体制が整備されていないと感じます。 伊勢市駅周辺もホテルも建設されつつあり、遷宮もあり今後更に宿泊消費も増えると思っております。 その中で、大型連休以外の連休でも常に飲食店には長い行列が出来ている所もあり、夕食時は観光客もですが市民も予約しないとどこの店も入れず、ちょっと外食しようかと気軽に行けず夕食難民になっています。他県の商店街の視察も行っているかと思しますので、駅前商店街の活性化を含め、市民だけでなく観光客も足をとめていただけるような店舗の整備が必要だと思います。	「V分野別計画」の分野6「産業・経済」施策2「商工業」【取組の方向性】「6-2-3. 商店街等の振興」に記載のとおり、市民や観光客が集まる活気のある商店街となるよう、商店街を歩きたくするような居心地の良い空間づくりに取り組みます。 また、「V分野別計画」の分野6「産業・経済」施策3「観光」【取組の方向性】「6-3-1. 「伊勢の物語性」の継承と展開」に記載のとおり、食を含めたさまざまな市内の地域資源を磨き上げ、新たな観光コンテンツの創出につなげていきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
11	V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 分野2 教育 分野4 医療・健康・福祉 分野6 産業・経済	47～	分野別計画（概要版）について 分野1・2・4・6（地域発展に関連） 【発展要項】 【地域】 ・商業の発展と促進／民営と公営の循環 ・施設のデザイン性（建築デザイナーの起用と交流導線）公共施設の開放と定着 ・介護施設（高齢者）と学校（学生）に地域事業者（個人可）の介入（収益性）できる環境整備 ・いろんな考え方に触れる機会（事業者との交流機会／多様文化の海外客の流入経路）  【観光】 （地域▶国内観光▶インバウンド／インバウンド▶国内▶地域） ・世界観の統一（関西／関東圏のように近隣県がないため）と文化継承事業者の斡旋 ・ウェルネス志向の浸透 ・日本から世界の心の故郷に、地域全体を体験型リトリートのパッケージ化 （インドのアーユルヴェーダ的な／長期滞在する目的） ・住民の日本文化の体験機会と継承で現代版に昇華（観光発展と地域交流機会） ・AIと機器の共有とDX活用（AR・VRやLuup電動バイクの貸し出し） ・祭りやイベントの多様化・軽化とLIVE中継（市営LINEで疑似体験）  【企業】 ・DX化促進（CMS活用とLINE（Saas）構築・商品の再設計） ・ターゲットごとのオンラインコミュニティ（地域商店／全国展開／海外輸出） ・企業間の委託・協業の斡旋 ・エネルギー・インフラ事業への投資斡旋（太陽光と蓄電池）	本計画は、施策の基本的な方針等を示すものであるため、いただいた具体的な事業手法や内容等に関する記載の追加等はいりませんが、今後の個別計画の策定や具体的な事業展開における参考とさせていただきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
12	V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策1 地域コミュニティ	49	地域コミュニティについて 「「公助」の限界」という新自由主義的な表現がこのような公共の文書で公然と表現されていることに驚愕を覚えます。何事にも限界があることは当然ではありますが、人類の平和な共存繁栄のために、理念を忘れ努力を放棄するような線引きを思考停止のように記述することがあってはなりません。	市民の安全を守る上で、「公助」は市が果たすべき重要な責務であると認識しています。その一方で、過去の大規模災害の教訓から、発災直後には行政の支援が迅速に行き届かないおそれがあります。 このような状況下においては、公助とともに、日頃からの地域社会の結びつきを基盤とした住民同士の助け合いとしての「共助」が欠かせません。防災の観点からも地域コミュニティの重要性を共有し、いざという時に命と暮らしを守る共助の重要性をお伝えする意図で記載したものととして、ご理解いただければ幸いです。 以上のことから、計画の修正は行わないこととします。	無
13	V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	54	‘文化・芸術の振興’の表現ですが文化とは生活そのものであって市民生活全体のありようではないかと思えますがどうですか。 背景の6について、小中学生の文化体験講座・この講座・体験とは幅が広くあって鑑賞も身体的体験も学習講座もあろうかと思うがどのように考えているのか、一口に全体を含むということになるとつかみどころがないと思う。生涯学習センター等の体験型の文化？芸術？の活動があるとしてもそれらが市民との関係性が低いのではなかろうかと感じる。お木曳行事については各団々のあり様があってそれがそれぞれの文化となっているのではないかと、一般論のお木曳行事は文化庁の書籍で学ぶことですか。	「文化とは生活そのもの」というご意見について、本市としても、市民の日常的な営みや、お木曳行事における各団の特長など、地域に根ざした活動や伝統が、本市の重要な文化であると認識しております。 計画案に掲げる「小中学生の文化体験講座」につきましては、鑑賞・実技・芸能体験など多様な形態を含むものとして実施しており、次代を担う子どもたちが、郷土の歴史や伝統文化、優れた芸術に直接触れ、体験する機会を創出することで、郷土への愛着や誇りを育むことを目的として取り組むものです。 また、生涯学習センター等における各種講座につきましては、文化・芸術の振興を直接の目的とするものではなく、市民の皆様に生涯を通じた多様な学習機会を提供し、学習環境の充実を図る「社会教育」の一環として実施しております。 いただいたご意見は、本市における文化のあり方や、今後の施策・事業を展開していく上での重要な視点として受け止めさせていただきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
14	V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	54	文化について 「郷土愛を醸成」国際社会では、ヨーロッパを中心に発達した「国」の概念をなしたちの異なる地域民族にまで押し広げ軌轢を作ってきました。国という固定した概念に馴染まない民族や習俗は数多く、愛する対象も様々です。日本の地方行政においても行政区域と地域意識に乖離があることは自明で、何を郷土と感じ何を愛するかは個人の自由意思です。郷土愛を漠然とした表現で当然としてはなりません。 「伊勢らしい文化・芸術」伊勢市の行政当局が市民の文化・芸術の振興を考えると「伊勢らしい」という判断は必要ですか。伊勢市では伊勢らしい文化や芸術がいかに伊勢らしいかを競って評価されるのでしょうか。何が伊勢らしいのでしょうか。かつてあったようなその音楽は革命的かどうかなどと同じような愚かさ・滑稽さを感じます。少し考えればわかることを、考えもしないで無批判に記述するのはやめてください。	「郷土愛」の意味・範囲は個人によって異なるという慎重なご意見として、真摯に受け止めています。本計画における「郷土愛を醸成」という表現は、市民一人ひとりが伊勢市の自然・文化・歴史への理解を深める中で、地域への愛着を自然に育んでいくことを期待する趣旨であり、特定の価値観を強制するものではありません。多様な価値観を前提とした表現としてご理解いただければ幸いです。 「伊勢らしい」という表現が価値判断や序列化につながりかねないというご指摘は、重要な問題提起として受け止めています。本計画におけるこの表現は、市内各地の地域資源と結びついた文化芸術活動を大切にしている趣旨で用いているものであり、行政が特定の文化・芸術を評価・選別する意図はなく、多様な文化芸術活動を幅広く支援するという立場に変わりはありません。	無
15	V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	55	「将来」という言葉の使い方について 11行目に「将来を担う子どもたちに対して文化芸術に触れる機会を提供…」、62ページには「伊勢市の将来を担う人材の育成…」と最終行にあります。後者は「地域」「郷土」という言葉から「伊勢市の将来を担う」ということで良いと思いますが前者についても「(伊勢市の)将来を担う」と意味でしょうか。そうではなくてもっと広い意味で「過去」や「現在」と比べて使っているのであれば「将来」より「未来」が良いと思います。	本計画における「将来を担う子どもたち」の「将来」は、62ページの「伊勢市の将来を担う人材の育成」と同様に、伊勢市のまちの将来を担うという意味で用いており、表現の意図は両箇所において一致しています。 また、本計画は伊勢市のまちづくりの方向性を示す行政計画であることから、「将来像」「将来を担う」など市政・まちづくりの文脈における将来という用語を一貫して使用しており、「将来」の表記は適切であると考えています。 以上のことから、計画の修正は行わないこととします。	無
16	V 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	55	文化への「取り組む方向性」について 1-5-2. 文化芸術活動の促進 掲げられた3項目の推進は素晴らしい事と実感致します。	ご意見ありがとうございます。今後また一層文化芸術活動の促進に取り組んでまいります。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
17	V 分野別計画 分野2 教育 施策1 学校教育	63	「2-1-1」について 1,2も3,5,6の項もいずれも主体が「子どもたち」であるのなら、3,5,6の項の「子どもたちが」は省いても良いと思います。 4の項についても「教員のICT活用力向上に取り組むことでICT機器を効果的に…」とすれば良いと思います。 また、7つめの「幼児教育の…」は「2-1-3」へ移項すると良いと思います。理由は、就学前から小学1年生への円滑な接続が安心して学習に取り組む教育環境づくりに直結すると思うからです。	3,5,6の項につきまして、ご指摘のとおり修正します。 4の項につきましては、「教員の活用力向上」と「ICT環境の整備」を、並行して推進するという市の姿勢を示すため、原案の表現を維持させていただきます。 7の項につきまして、幼児教育から小学校教育への円滑な接続については、「学力等の向上」と、「安心安全な教育環境づくり」の2つの目的があり、どちらも重要なものであると考えております。今回の計画上では、学力等の向上という側面に比較的重きを置いて2-1-1での記載としますが、ご指摘いただいた点についても同時並行で取り組んでまいります。	有
18	V 分野別計画 分野2 教育 施策1 学校教育	63	「2-1-2」について 「豊かな心の育成」には「子どもの読書活動の推進に関する法律」にもあるように「読書活動」が「他者とのふれあい」や「音楽・美術など芸術に接すること」などと共に大切なことだと思います。 学校教育において読書活動が推進されていくよう取り組んでいることを記載してはいかがでしょうか。	ご意見のとおり、読書活動は子どもたちの豊かな心の育成につながる大切な取り組みであり、学力形成の基盤となるものと認識しております。 本計画では、こうした観点から、2-1-1において読書習慣の形成を位置づけており、読書活動の充実に取り組んでまいります。	無
19	V 分野別計画 分野2 教育 施策1 学校教育	63	「2-1-3.安全で安心な教育環境づくり」について 推進方針にある「誰一人取り残さない教育」に基づいて、ひとつめの項はよく理解できます。加えて、「伊勢市子ども読書活動推進計画」の10ページにある「すべての子どもに対する配慮」の内容や、小中学校、就学前施設における子どもたちや保護者に対する支援の充実について記載されてはいかがでしょうか。（特別支援や教育相談）（インクルーシブ教育）	2-1-3の1文目で、誰一人取り残さない学びの保障を目指した取り組みの方向性を示しております。本計画では具体的な取り組み内容までは記載しておりませんが、特別な支援を必要とする子どもや不登校等により支援が求められる子どもなど、誰もが安心して学び続けられる環境づくりに取り組んでいきます。 いただいたご意見の趣旨については、本計画に基づく取り組みの中で引き続き大切にしていまいります。	無
20	V 分野別計画 分野2 教育 施策1 学校教育	63	「2-1-3」の4つめの項について 「小中学校で防災ノートを用いて…」の内容は「安全で安心な教育環境づくり」という取組の方向性としては少し違和感を覚えます。防災対策について記載することで「安全で安心な…」とすることは賛成ですが、この文章内容のままであれば「2-1-1」へ移行した方が良いと思います。	安全で安心な教育環境づくりの取組の一つとし、学校安全に関する取組の充実を目指しております。防災に関して子どもたちへの意識付けを図り、安全で安心な教育環境づくりに繋げるという意図の表現となりますので、原案を維持させていただきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
21	V 分野別計画 分野2 教育 施策2 社会教育	64 69	「市立図書館」（13行目）、「公共図書館」（20行目、下から5行目）について「公共図書館」と「市立図書館」が同義であればいずれかに統一してはどうか。69ページの（指標の算出方法）には「公共…」が「伊勢市子ども読書活動推進計画」では「市立…」が使われていますね。	P64 20行目については、公共図書館としての課題について記載しているため、「公共図書館」の表記とさせていただきます。 P64下から5行目及びP69指標の算出方法における記載については、市立図書館の取り組みを指すため、「市立図書館」に修正します。	有
22	V 分野別計画 分野2 教育 施策3 スポーツ	65	スポカルウォーク年間5回の開催で毎回100人余の参加があり、全ての回に参加される方も全体の65%となってきましたが参加者の年齢層は60才～70才と高令者が多く、今後の課題としては若い方や家族での参加が増える手段を考慮し、スポカルウォークに参加することでいろいろの体験、体感の出来るよう充実を図り又コースの地域の方達の協力で活動の広がりを行っていく必要があると考えています。	ご指摘のとおり、幅広い年代の市民に参加していただき、運動をする機会の提供と地域の文化に触れていただくことが重要であると考えています。 広報にあたっては、従来の広報いせ及び伊勢市ホームページに加え、公式SNSでの配信を活用し、幅広い年代の参加者の獲得に努めます。 地域の方とのつながりについては、地域の文化に関する情報や当日の解説に協力を求める等、地域の方々と協力した企画運営を行い、イベントの充実を図ります。	無
23	V 分野別計画 分野3 環境 分野5 防災・防犯・消防 分野7 都市基盤	71～	分野別計画（概要版）について 分野3・5・7（地域保守に関連） 【保守要項】 ・自然景観の保持とエネルギー・インフラ整備 ・自然環境に行き来する興味関心（家庭菜園の浸透） ・森林の朽木の回収と活用 ・エネルギー事業者（太陽光と蓄電池）の促進・斡旋 ・災害時、LPガスの電気変換機の導入、太陽光発電の一時開放 ・精神的・身体的な健康改善の概念と支援の機会（東洋思想の根本療法） ・経済と地域の循環構造の詳細をわかりやすく体型化 ・自己投資（時間とお金）のサポート ・個人が個人の経営者目線となる機会の創出	本計画は、施策の基本的な方針等を示すものであるため、いただいた具体的な事業手法や内容等に関する記載の追加等はいりませんが、今後の個別計画の策定や具体的な事業展開における参考とさせていただきます。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
24	V 分野別計画 分野3 環境 施策1 循環型社会	72 73	他市町村で昨年していた家庭向けのエコ家電の助成金をしてほしい。	本市では、分野別計画においても、「家庭におけるエコ住宅・エコカー・エコ家電の導入等のライフスタイル転換」を推進することとしており、現在、広報紙・イベント・街頭啓発等を通じた情報発信に努めています。 ご提案の助成制度は普及促進に向けた有効な施策となる一方、多額の財政負担を伴うため、現時点では制度創設は困難であると認識しています。ご理解いただきますようお願いいたします。	無
25	V 分野別計画 分野3 環境 施策1 循環型社会	72 73	環境 循環型社会（脱炭素）プラスチックに係る資源循環の促進 回収方法にてプラは現在オレンジの網袋で委託回収しているが、特に令和6年からの変更後網袋の損傷が酷く（パッカー車で押しつぶす）網の修理時間、枚数が多く洗浄、セット作業、費用（人件費）等、果たして最適な回収方法か？他の自治体（他県）との回収方法の違い？費用対効果？網の回収方法以外に方法が無いのか疑問である。	プラスチック類の回収につきましては、現在、資源ステーション等において網袋を使用し、委託により回収を実施しております。 一方で、他の自治体におきましては、指定袋や透明・半透明の袋を用いて回収を行っている事例もあり、回収方法については自治体ごとに様々な方式が採用されております。ご意見でございますように、網袋方式の場合、袋の購入のほか、洗浄や損傷した際の補修などの作業が必要となりますことから、維持管理に一定の手間や経費が生じる面もございます。 頂戴しましたご意見も参考にしながら、回収作業の効率性や経費等の観点も踏まえ、今後の回収方法について検討してまいりたいと考えております。	無
26	V 分野別計画 分野4 医療・健康・福祉 施策2 地域福祉	85	「SOSを出せない人を把握し～」について どのような方法で把握していくのか？具体案を教えてください。	地域の支援関係者・機関などへのアンケート調査等に基づき、支援を必要としながらも支援につながっていない人の把握に努めてまいります。	無
27	V 分野別計画 分野4 医療・健康・福祉 施策2 地域福祉	86	誰かとつながる場づくりについて 気軽に立ち寄れる居場所の推進は必要であると思います。	ご意見のとおり、気軽に立ち寄れる居場所は、地域のつながりを育み、孤独・孤立の予防や困りごとを抱えた方が早期に支援につながるきっかけとなる重要な取り組みであると認識しています。 今後も、関係機関・地域団体等と連携しながら取り組みの推進に努めてまいります。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
28	V 分野別計画 分野4 医療・健康・福祉 施策3 障がい福祉	87 88	障がい者本人の高齢化又その保護者の高齢化が進むなか親なき後の問題等待たなしの現状であります。国も地域生活移行、グループホームの確保に向けて方向が推進されています。 当市において特に肢体不自由者のグループホーム等の施設が無い為に市外に行かざるをえません。ぜひ、あらゆる角度から検討をしていただき整備推進に取り組んでください。	国の方針に基づき入所施設からの地域移行を進める一方で、「V分野別計画」の分野4「医療・健康・福祉」施策3「障がい福祉」に記載のとおり、親なき後も住み慣れた地域で暮らし続けられる環境整備が求められています。特に重度障がいのある人が利用できるグループホームの不足は全国的な課題です。そのため、施設整備費の予算確保や、適正な人員配置を可能にする報酬及び加算の充実を全国市長会を通じて国へ要望しています。これまで、市としても、市が所有する高齢者施設を障がい者施設へ転換し、グループホームや重度肢体不自由の人向けの生活介護や短期入所施設を整備してきました。現在は、整備費への市独自の上乗せ補助や、県と協働した緊急整備事業により事業者負担の軽減を図るほか、民間事業者への働きかけや人材確保・育成支援にも取り組んでいます。今後も、国に対し、適切な報酬設定や人材確保の取組を一層推進するよう要望するとともに、障がいのある人や事業者の皆様に参画いただいている伊勢市障害者施策推進協議会等を通じて多角的な支援策を検討し、整備を推進してまいります。	無
29	V 分野別計画 分野4 医療・健康・福祉 施策3 障がい福祉	87 88	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、グループホームの確保を是非お願いしたい。 特に重度身体障がい者は、家で親が見ていることが多く、親が高齢になったり、介護してもらう方がいなくなったら、施設もグループホームもなく、市外の施設に入所になる。本人の意思とは関係なく、玉城町や松阪市や四日市へ、転居や入所されている。 伊勢で生まれ、障害がありながらも、伊勢市で地域の方の理解や支援のもと、生活していても、最終的に伊勢市で住み続ける事が困難な状況になっている。 この状態をなんとかして欲しい。資金や人材不足で、なかなか進まない状況を伊勢市として、具体的な施策を盛り込んでもらいたい。 地域で、安心して生活していく権利を、重度障がい者にもお願いします。		無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
30	V 分野別計画 分野4 医療・健康・福祉 施策3 障がい福祉	87 88	重度障がい者の親なき後の受け入れ先不足の解決として、具体的な目標数値を出して欲しい、受け入れ時には、補助金が何円で、加算をどのくらい等の明確さが必要だと思います。事業所は人とお金の両方が不足しているとの事、もう8050問題を越えている家庭もあります、悲しい事がこれから伊勢市で起こらない様に助けてください。	伊勢市第7期障がい福祉計画等では、国の基本指針に基づくグループホーム利用者数の見込みを指標として設定するとともに、重度障がいのある人の利用者数についても市独自に設定しており、次期計画策定においても継続してまいります。 重度障がいのある人が利用できるグループホームの整備を推進するため、国・県の補助金や市独自の支援制度の情報共有を図りつつ、民間事業者の皆様へ積極的な整備促進を働きかけているところでございます。 重度障がいのある人が利用できるグループホームの不足は全国的な課題であるため、今後も、国に対し、適切な報酬単価の設定や介護人材の確保・育成・定着に向けた取組を一層推進するよう要望してまいります。また、伊勢市障害者施策推進協議会等において、ご指摘の人材不足や費用負担の両面から支援のあり方を検討し、整備の促進に努めてまいります。	無
31	V 分野別計画 分野5 防災・防犯・消防 施策1 防災・減災	101	(5-1-1について) 防災講習や防災イベントはとて面白い機会だと思います。ただ、それって元々防災に関心があって、且つイベントに参加できる予定や意欲がある人だけになってしまうのではないのでしょうか。 仮に学校で開催していても、学校に行っていない親やが年配の方々、移住してきた人たちは自主的に防災の情報を把握できるのかなと思ってしまいました…。 経費などの関係で難しいかもしれませんが、TVCMや大型施設で防災について具体的な動き方や避難経路を災害の内容によって月ごと流すなど、ご家庭にテレビがあれば目に入りますし、テレビ離れている世代や観光で伊勢に来た人も大型施設の利用はあると思うので、もしものときの動きが自然と想像しやすくなりそうかなと思いました。 私は移住してきた者なので、土地勘も分からずで、特に津波が来たらどうしようと思うことがあり書かせていただきました。	本市は、安心して暮らせるまちづくりを目指し、市民の皆様の防災意識を高め、災害に備えた地域づくりを推進しています。テレビCM等による周知は、費用が高額となることから難しいところですが、限られた予算の中でSNSや広報紙など多様な手段を活用し、具体的に効果的な情報発信に努めてまいります。	無
32	V 分野別計画 分野5 防災・防犯・消防 施策1 防災・減災	101	(5-1-2について) 防災マップの作成、確認を一緒に誰かとしていただける機会はとても頼りになります！もし今までもされていたら存じ上げず申し訳ないのですが、そのようなイベントの開催などの宣伝を強化していただきたいです！！え！知らなかった！で月日が経つことがよくあります。	自治会による地域防災マップの作成支援については、毎年自治会にご案内し、取り組みを促進しています。地域の防災力向上や住民同士のつながりを広げるため、引き続き活動を強化し、支援を行ってまいります。	無

No	課題・分野	頁	意見内容	市の考え方	修正の有無
33	V 分野別計画 分野5 防災・防犯・ 消防 施策1 防災・減災	101	<p>(5-1-3について) 避難所環境の整備、設備をととも進めていただきたいと思います！特にプライバシーの確保と水回りです。</p> <p>プライバシーの確保に関しては、段ボールの仕切りなどではなく、個室テントの用意が安心できます。仕事柄、伊勢の方々とお話しする機会が多く、心温かいばかりだと毎日感じます。ただ、災害時、避難時は本当にいろんな方々がいると思います。海外の方も増えていると思います。プライバシーの確保が手薄なことから発生する性被害が本当に怖いのです。ただでさえ災害が起きて心身共に休められない上に、性被害の危険性があるのが怖くてたまりません。</p> <p>避難するほどの災害が起こらないのが一番ですが、そんな災害が起きたときに少しでも安心して避難できる環境があったらいいなど、心から思います。</p> <p>ご検討お願いいたします。</p>	<p>避難所でのプライバシー保護のため、室内用テントやパーティションの備蓄を進めています。また、災害用マンホールトイレに関しては、男女の間隔に配慮した設置を行っています。今後も、警察と連携し、避難所の安全性向上に取り組み、犯罪防止を含めた安心できる避難所づくりに努めてまいります。</p>	無
34	V 分野別計画 分野6 産業・経済 施策3 観光  V 分野別計画 分野7 都市基盤 施策3 交通	117  132	<p>外宮周辺の道路及び駐車場についてです。</p> <p>通常の連休でも駐車場に向かうあちこちの道が大渋滞で、市民しか通らないような中の道路も渋滞になったり、家にたどり着くのにかなり時間を要し生活に支障をきたしています。観光客の立場で考えてもあの大渋滞は困惑してると感じます。特に外宮前交番近くの道が何方向からも出入り出来る状態で、これも渋滞の要因かと思っており、いつ事故がおきてもおかしくありません。北御門の信号付近も交差点真真中で停まっていたり、横暴な運転される方も見え、市民として子供や高齢者を含め歩行するのさえ安全に不安を感じます。駐車場付近に警備の方も見えますが不十分です。警察の協力も視野に入れつつ、パーク&amp;ドライブだけでなく駐車場の増設が必要だと思います。これでは外宮周辺で観光客の方がゆっくり時間を作ることが出来ず離れてしまいます。早急に対策をお願いします。</p>	<p>外宮周辺におきましては、正月やゴールデンウィーク時には、臨時駐車場の開設や交通規制等を実施しているところです。</p> <p>今後、関係機関と協議しながら更なる交通環境の改善に努めてまいります。</p>	無
35	全体		<p>155ページ脚注の「2市民」ほか、体裁について 改行のまちがいは正してください。 ほかの文章で「両端揃え」にすると良いと思われるところがあります。 (P54, P64, P65など)</p>	印刷刊行時に調整いたします。	無